

榎本 祐子 氏 学位審査結果の要旨

主査：高橋 寛二

副査：伊藤 誠二、中邨 智之

本研究は、食品由来抗酸化物質であるクルクミンと緑茶抽出物を用いて、ヒト網膜色素変性症のモデルである MNU 誘発ラット網膜変性症における病態抑制効果ならびにその機構を明らかにした研究である。その結果、これらの抗酸化物質は網膜での酸化ストレス発生抑制を介して、MNU 誘発の視細胞アポトーシスの発現を抑制し、最終的に網膜傷害を軽減することを解明した。また、両物質の生体での安全性についても確認している。これらの結果はクルクミンと緑茶抽出物による網膜色素変性症の新規治療方法としての有用性を示唆し、その臨床応用が期待されることから、本研究は学位を授与するに値するものと考えられた。